

埼玉会だより

第 35 号

日退協 埼玉会



年頭にあたり

埼玉会代表 石井 憲



新年明けまして、おめでとうございます。会員の皆さまには健やかに新年をお迎えになったことと拝察いたします。埼玉会会員の皆さまには本年も引き続き、ご理解と

ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス、ロシアのウクライナ侵攻、それらに付随した未曾有の物価高など年初から暗雲が漂っており、本年も多難な一年となりそうです。日本の人口は昨年 9 月には前年に比べ 82 万人減少している一方、65 歳以上の高齢者は前年に比べ 6 万人増加し 3627 万人となり、過去最多となりました。日本の高齢化の流れは一層早まることが予想されます。ご存じの通り、日退協の設立目的は「シニアの積極的な社会参加を促し、生きがいと心身の健康実現を目指します」となっています。大げさに言えば、これからの時代は日退協の活躍の場がますます開かれているといっても過言ではないと思います。本部では SDGs 協働活動と今年から「フレイル(老化)」防止という新しい言葉を合言葉にして推進してまいります。このフレイル防止は今まで取り組んできた活動そのものですが、気持ちを新たにして、この言葉のもと、さらにフレイル防止活動に磨きをかけていきましょう。

埼玉会としても新しい、楽しい、役に立つ企画を立てて実行してまいりますので、ぜひ、ご参加をいただくとともに、皆さまの斬新なアイデアを提供いただければ幸いです。

スポーツでは今年の 3 月の野球の WBC、7 月世界水泳、9 月のラグビーワールドカップなど世界大会が目白押しです。昨年オリンピック、サッカーワールドカップに酔いしれましたが、今年もその流れのまま大いに盛り上がりましょう。



大宮氷川神社「楼門」前

“親” 渋沢栄一翁 <その 4>

薄井 繁 (狭山市)



明年の春には、渋沢栄一・津田梅子・北里柴三郎の三氏の顔入りの新札が使用開始される。世の中はキャッシュレス時代に入ったと言われるが、既に老境入りした世代にとっては一万円札は手元にな

いと寂しいもの。その段階で翁は更に我々の身近に存在する様になる。埼玉県出身の資本主義の父であり、この日本を代表する尊敬されるべき人物なのである。同じ、深谷出身の畠山重忠も武蔵国武士の鑑とされ、その名を後世に伝えている。

翁の足跡は、孫の渋沢敬三氏(戦前の日銀総裁・戦後の大蔵大臣)の残した伝記資料(全五十八巻・別巻十巻)に十分集約されている。富士山のような広い裾野を持ち、全貌が深い人だったという。そして、朝からの出来事を「吾日に吾が身をみたび省みる」の三省を実行してから寝る人。「学び乍ら生かす・生かし乍ら学ぶ」で基本掴む。これは今の自分達にもできることなので、受け継ぎたい。(了)

大宮氷川神社「初詣」

菊池 正美 (東京足立区)

13:00 に大宮駅中央自由通路の豆の木の前には、20 人集合。大宮ガイドの会のガイドさん(3 名)の下、2 班に分かれて大宮駅東口より出発。この地は、明治 18(1885)年に駅が出来、多くの製紙工場が大宮周辺に進出し、発展しました。街が整備され、現在では宿場の面影は失われました。"22 年 4 月には、地上 18 階の複合施設「大宮門街」がオープンし、東口の再開発にも弾みがつきそうです。平成広場・太宰治滞在跡・二の鳥居・石灯籠 2 基の案内を乞う。行幸絵巻・三の鳥居・宗像神社・蛇の池。

この後、夫々本殿にて礼拝後、楼門前にて記念の集合写真を撮り、15:10 頃散会しました。

〔実施日：2023.1.12(木) 参加者 男 18 名、女 4 名 計 22 名〕

この後、有志 12 人により大宮駅西口の居酒屋「魚星」にて新年会を行った。

《埼玉俳壇》

青空を突く初富士や今日も生きん

地畑朝子

花言葉

「アマリリスの花」



堰 (ペンネーム)

太い茎の先に、大きな星形の花を咲かせる「アマリリス」。「輝くほどの美しさ」という花言葉を持ちます。江戸時代末期に原種が初めて日本に入ってきており。その後昭和初期には品種改良され増えています。オランダが一大産地です。冬の花ではありませんが、その葉を見ると容易に花の美しさを想像することができます。

くれなゐのにくき唇あまりりす

つき放しつづ君をこそおもへ (北原白秋)

我が家でも、鉢から地植えに移してから忘れた頃になって次々と咲き出し、大変嬉しくも驚いた次第です。それは、愚孫の意外にも立派な成長を見たような瞬間でもありました。

会員の作品紹介コーナー

No.18 「秋バラとアキアカネ」

田中英司 (さいたま市)

秋バラの上に秋の代表のアキアカネが羽を休めているところを撮りました



新入会員紹介キャンペーン 結果報告と御礼

(期間 2022年9月~11月末)

本部会員対策委員:白石 崇

各地域会の紹介結果は下記のとおりです。

京葉会: 5人 神奈川会:10人 西東京会:21人
埼玉会:20人 全体合計:56人

地域会合計の比較では、堂々の2位であり埼玉会としての存在感は十分に示せたと考えております。「流石に埼玉会はやるときはやる」との評価を維持できホッとしています。

埼玉会の総会員数もここ3年減少傾向が続き、80人程度まで減少していましたが、何とか100人を維持できるところまで回復しました。これを維持しさらに増加に転ずるよう今後とも友人等への会員加入声掛けをよろしくお願いします。

最後になりますが(白石は当然として)今回取り組みいただいた、畠山さん、石井さん、伊藤さん、近藤さんに感謝申し上げるとともに取り組み会員の横への広がりを期待したいと思います。

「秩父札所巡り」について

梶原輝雄 (所沢市)

2022年11月17日(木)に埼玉会第69回の活動として「秩父札所巡り」を実施しました。参加者は17名で秩父鉄道「影森駅」に集合(2名は途中から合流)し、「26番:円融寺」・「琴平神社」・「27番:大淵寺」の3ヶ所を訪れました。

26番:「万松山円融寺」は臨済宗(禅宗)の古刹で創建時期は15世紀末~16世紀初めとのこと。本尊の聖観世音菩薩は以前奥の院・岩井堂に安置されていましたが、このお堂は無人且つ山の上にある為現在は円融寺の本堂に収められています。本来ならば奥の院・岩井堂まで行きたかったのですが、境内から約1.2km(徒歩で約30分)あり且つ殆どが険しい階段続きなので今回は止む無く断念しました。

次に「琴平神社」に向かいました。社が「昭和電工」の工場敷地内にある為許可を得て入れて頂きました。社の創建は残された碑から安土桃山時代には祀られていたのではないかと推測されます。社には急な150段の階段を登らなければならないので希望者を募り参拝をしました。

最後に訪れた27番:「龍河山大淵寺」は曹洞宗の寺、創建年代等は不詳で本尊は聖観世音菩薩です。これまでに明治・大正の2度にわたり火災に遭い、本堂は100年前大正12年(1922年)に再建されたものです。因みに大正8年の被災の原因は蒸気機関車の煤煙がもとで発生した火災とのこと。

山門をくぐると「観音延命水」といわれる湧き水があり、一口飲むと三十三日生きできるとか・・。又、本堂の背後の林には高さ15mの護国大観音像が堂々と佇んでいました。白いコンクリート造りの像ですが高崎観音・大船観音と共に関東三観音の一つに数えられています。

この後、「影森駅」(注)から西武秩父に向かい、希望者だけ秩父神社に参拝し解散しました。



(注)「影森」駅の地名は、当地の森林が秩父の名峰武甲山の山影になる場所であることに由来するとのこと。

埼玉会イベントのご案内

イベント幹事 菊池 正美

2022年度の埼玉会イベント予定は次のとおり、3月29日(水)の1件を残すのみとなりました。

ご案内は2月中旬頃、「マチュリティニュース」として本部事務局より①e-mail、または②郵送にてご案内いたします。①ホームページから e-mail または、②Fax 等にてお申し込みください。

1. '22.11.17(木) 第69回秩父「26番円融寺、27番大淵寺」 済
2. '23.01.12(木) 第70回「大宮氷川神社・初詣」 済
3. '23.02.16(木) 第71回「日本信号久喜事業所」見学 中止
4. '23.03.29(水) 第72回「岩月城址公園の花見、岩槻人形博物館、鈴木酒造酒蔵見学」

いきいきシニアライフ

(発行者) 公益社団法人 日本産業退職者協会・埼玉会
代表幹事 石井 憲
事務局 畠山忠昭
事務局 〒32-0031 川口市青木1-22-17-902
TEL&FAX 048-259-5917
e-mail jarp_saitama@yahoo.co.jp